



AA誌選りすぐり！ 今季の注目機と問題作を徹底試聴

BEST HiFi Components

2015 SPRING

今季の注目機達

Monitor Audio GOLD 100/GOLD 300
C.E.C. CD5
AMPHION Argon 7L/Argon 3/Argon 1
GOLDRING Legacy/Elite/Eroicaほか
VOXATIV Pi
Harbeth Super HL5 Plus



ハーベスの“いま”がここにある 新世代のフラッグシップモデル登場

● 本機の概要を知る
BBCモニターの体系を築いた
創業者から継承された設計思想

ハーベスはイギリスの小規模なスピーカーシステム専門メーカーで創業は1977年。創業者はH・ダッドリー・ハーウッド。彼はBBC(イギリス放送協会)の研究所でベクストレーンやポリプロピレン振動板の開発などに携わり、いわゆる「BBCモニター」の体系を構築したメンバーの一人だ。創業当初はBBC向けのモニタースピーカーシステムに特化していた。ちなみにハーベスの社名の由来はハーウッドと奥様のエリザベスを組み合わせた造語である。

10年後の1987年に会社を愛弟子のアラン・シヨーに譲ってからはBBCモニターで培われたノウハウを注入した民生用システム「HL5」と「HL・Compact」を発売して人気上昇。今日でも基本はBBCモニターだが、その中に先進の技法を駆使するアラン・シヨーの設計方針が強く反映。そして製品の枠組みは民生用(家庭用)と業務用(スタジオ用)に分けられ、すべてブックシェルフ型である。

振動板の素材を進化させ さらなる発展型として登場

さて、ここで紹介する本機は、創業者のダッドリー・ハーウッドが開発した「モニターHL」の最終バージョンをアラン・シヨーが手を加えて1987年に発売した「HL5」が源流である。これは三

(井化学)株が開発したTPX(メチルペンテンポリマー)振動板の20cmウーファーと2.5cmのアルミニウムドーム型トウイーターを組み合わせた2ウェイ構成であった。2004年には10kHz以上を担当するスーパートウイーターを付加し、ウーファー振動板にハーベスのオリジナルRADIAL振動板を採用した3ウェイ構成の「Super HL5」が登場。ミッドレンジユニットを付加する一般的な3ウェイ化と異なったアプローチに「いかにもハーベスらしい手法」だと思つたものだ。その音質、音調は高域方向が確実に伸張し、若干の華やかさを伴いながらもハーベスならではの「癒しの音」があった。

そして2015年、さらなる発展型として「Super HL5 plus」を輸入元が導入した。ウーファー振動板にはRADIALを進化させたRADIAL2を採用。これはポリプロピレンにアルミニウムを配合し、その配合量をコーンの中心部から外周部に変化させ、剛性や内部損失などを最適化した振動板だ。トウイーターは旧型と同じ磁気ギャップ内に磁性流体を注入して耐力をアップさせた2.5cmアルミドーム型。スーパートウイーターは2cmのチタニウムドーム型だ。これらの構成で40Hz〜20kHz間で±3dBというフラットな周波数特性を獲得している。ネットワークは、アラン・シヨーが得意とする領域でもあり、設計や部品の品位などは文句なし。キャビネットは外観や寸法比、

Details



Super HL5 Plusのリア部。入力端子はバナナプラグ対応で、バイワイヤリング接続も可能

● 本機の音に触れる
潤いがあるて温かい伝統の音
低域が伸びて量感もたっぷり

そして内部構造はオリジナルとほとんど変化はないが、本機は内部に吸音材を充填。バスレフタクトにも微細なチューニングが施され、これまで以上に響きの美しさがコントロールされている。もちろんイギリス国内で生産されている。

本機の音質・音調を一口でいえば「癒しのサウンド」である。直近で聴いても潤いがあるて温かい。古くからオーディオを楽しんでいられる方なら、あのダイヤートーンのシステムの存在が強力だった頃に聴いたHL5やHL・Compactの全体として穏やかな音質に驚き、感心したことがあるはずだ。本機はあの時のフィリングを受け継ぎ、基本的な音質にブレがない。何といってもこれが素晴らしいのだ。ストリングスは繊細で、クセが

Specifications

- 形式:3ウェイ・フロント・バスレフ型●使用ドライバー・ユニット:[中低域]=200mm口径RADIAL2コンポジット・コーン型[高域]=25mm口径カスタムメイド・フェロフルード・クールド・アルミニウム・ハード・ドーム型[超高域]=20mm口径カスタムメイド・チタニウム・ハード・ドーム型●クロスオーバー周波数:3.5kHz、12kHz●周波数特性:40Hz~20kHz(±3dB)●インピーダンス:6Ω●最大出力:150W(プログラム)●出力音圧レベル:86dB/W/m●推奨アンプ出力:25~150W●サイズ:322W×635H×300Dmm(最大312mm)●質量:16kg●取り扱い:エムプラス コンセプト

出やすいフォルテピアノの音色も自然。当然、声楽を聴けば肉質感があつてリアル。伸張した低域方向は量感も適当で重心が低い。定位と空間再現性にも優れる。特にクラシックファンにお薦めの逸品だ。私がよく使うフレイズでいえば「オーディオ情報よりも音楽情報を充実させた音質・音調」である。ハーベスにとっては「重い十字架」かもしれないが、今後ともこうした聴こえと響き「音質・音調」は変えてはならないと思つ。なお、4端子入力には上側がソフト傾向で、下側での接続はスッキリした傾向となる。その違いはかなり大きい。ユーザーは必ず比較試聴してから接続する端子を決めることだ。また、適切なケーブルを選択してのバイワイヤリング接続もお薦めだ。組み合わせるアンプは、真空管方式(ハイブリッド方式)を含め、本機の能率を考慮しつつ可能な範囲で上質な製品を選びたい。

**BEST HiFi
Components**

2015 SPRING

Harbeth Super HL5 Plus

スピーカーシステム
¥600,000(ペア/税別)
※専用スタンド「HSS-5」は¥68,000(ペア/税別)

Profile : 1987年にハーベスの記念碑的モデルとしてHL5が誕生。その18年後にはSuper HL5にリファインされ、その10年後の今、さらなるリファインを実現させた。ウーファーの振動板には最新世代のRADIAL2を採用し、コーン素材のメリットを最大限に引き出すことに成功。ネットワークやチューニングも含め、ハーベスが培ってきた技術を結集させた新生代のフラッグシップモデルがここに誕生した。

